

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	市営住宅長寿命化対策事業			事業番号	35-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	吉田 俊	建築住宅課	松木 努	

計 画 (Plan)						
総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち		
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり		
		施策展開の方向	16	便利で機能的なまちをつくる		
		施策	35	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進		
予算事業名	市営住宅長寿命化対策事業費					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	できる規定がある		
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—	
関連法令等	住生活基本法					
国・県の計画等	住生活基本計画(全国計画、都道府県計画)			計画期間	全国計画令和3年度～令和12年度 都道府県計画令和3年度～令和12年度	
関連個別計画	伊勢原市市営住宅長寿命化計画			計画期間	令和2年度～令和11年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	市営住宅の効率的かつ円滑な更新により、市営住宅の需要に的確に対応するため、市営住宅における長寿命化対策計画の更新及びこれに基づく予防保全的な管理、長寿命化に資する改善の推進が求められています。					
目的 (何をどうしたいのか)	伊勢原市市営住宅長寿命化計画に基づき、計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。					
主な対象 (誰・何を対象に)	市営住宅入居者及び特に居住の安定を図る必要がある住宅困窮者					
事業内容 (手段、手法など)	・市営住宅長寿命化計画に基づき、屋根防水・外壁改修工事等による、長寿命化に資する改善を進めます。					
事業行程	項目	年度				
		令和3年度	令和4年度			
	屋根防水改修、外壁改修	三本松住宅工事	千津住宅工事			
	ガス管改修	—	峰岸住宅設計			
目 標	【指標名】	【現状値】	年度			
			令和3年度	令和4年度		
	改修工事の進捗率	30% (令和2年度)	58.9%	100%		



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	居住性向上を図るため、空き住戸におけるガス設備の改修工事を実施します。		
実施方法 〔選択・記入〕	○ すべて直接実施 ● 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input checked="" type="checkbox"/> その他		具体的内容 工事事業者
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	屋根防水改修、外壁改修	三本松住宅工事	-
	ガス管改修	-	池端住宅1号棟1戸 精進場住宅1戸 峰岸住宅2号棟1戸
実施した取組の内容	市営住宅長寿命化計画に基づき、居住性向上を図ることを目的に空き住戸のガス設備改修事業を実施しました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
			令和3年度
	改修工事の進捗率	30% (令和2年度)	63.5%

コスト	年度		令和3年度 実績				令和4年度 実績			
	事業費合計 (a)		50,839	千円			6,055	千円		
内訳	国県支出金 ①		21,164	千円			2,552	千円		
	地方債 ②		29,600	千円			3,500	千円		
	その他特財 ③		0	千円			0	千円		
	一般財源 (a)-①-②-③		75	千円			3	千円		
国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金 補助率45%								
その他特財の内容	受益者負担	○ 有 ● 無		前回の改定時期						
	その他									
人件費	正規職員		0.16	人	1,309	千円	0.22	人	1,885	千円
	その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円
	人件費合計 (b)		0.16	人	1,309	千円	0.22	人	1,885	千円
トータルコスト (a)+(b)				52,148	千円			7,940	千円	
単位当たりコスト	対象数	定義	入居者			単位	入居者			単位
		対象数	40			人	6			人
	総事業費／対象数	1,303,700			円	1,323,333			円	

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左判断理由	市営住宅の居住性向上のため、市営住宅長寿命化計画に基づき、池端住宅1号棟1戸、精進場住宅1戸、峰岸住宅2号棟1戸の空き住戸3戸のガス設備改修工事を実施しました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	市営住宅について、建築年度、維持管理状況等が各市で異なるため、一律に比較することが困難です。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左判断理由	市営住宅長寿命化計画に基づき、計画的に居住環境の保全と確保のための事業を行うことは、国が目標として定める耐用年限までの活用が可能になります。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左判断理由	市営住宅長寿命化計画に基づく事業の経費の一部を社会資本整備総合交付金とし、財源の確保に努めました。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
所管部長による総評	市営住宅の住環境の保全と確保のため、市営住宅長寿命化計画に基づく居住性の向上等に向けて着実に推進していく必要があります。引き続き、国からの社会資本整備総合交付金を財源として活用し、計画的に実施していく必要があると考えます。